

平成28年度 体育科教育にかかわる現状と課題

部長 能登 佐菊

1 体育科教育の動向

(1) 全体的な傾向

平成28年度は20地区から活動報告が寄せられた。今年度は、現行学習指導要領「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる」に、次期指導要領のキーワード「知識・技能」「思考力・判断力」「主体的・協同的」等を根幹においた「授業実践」「実技講習」「講話」等の研修が行われ、児童の実態や地域性を踏まえた「授業改善」「指導力向上」を目指して取り組まれた。

(2) 授業研究の実際

体育科の課題に基づいた研究主題を設定し、目指す授業を明確にし、さまざまな運動領域による「授業改善」に取り組み、数多くの授業研究が実施された。また、それぞれの郡市において、小中連携による授業研究、外部講師による授業指導・出張授業、市教委・市立教育センターとの連携等、各郡市で研究や実践をより効果的に深める工夫がなされた。

上越：器械運動「マット運動」(小中)	燕・西蒲：器械運動「鉄棒運動」
柏崎・刈羽：ボール運動「ソフトバレーボール」(5年)	新発田・北蒲：器械運動「マット運動」(5年)
糸魚川：器械運動「マット運動」(6年)	村上：器械運動「鉄棒運動」(3年)
長岡・三島：器械運動「マット・鉄棒運動」	五泉：ボール運動「ゴール型ゲーム タグラビー」(6年)
新潟：ゲーム「鬼遊び」「宝運び」(2年)	阿賀野：器械運動「マット運動」
器械運動「マット運動」(5年)	佐渡：表現リズム遊び「なりきって楽しもう」(1、2年)
「鉄棒運動」「跳び箱運動」(6年)	ボール運動「ゴール型ゲーム フットビー」(3年)
陸上運動「走り高跳び」(3年)「ハードル走」(6年)	胎内：「集団行動」(6年)「体づくり運動」(中)
ボール運動「ゴール型ゲーム」(4年)(6年)	

(3) 実技講習(研修)、講話の実際

児童の体力課題や教師の指導課題などに応じた講習(研修)、専門の外部講師等を招聘した講話等を行い、新しい技術、より高い「指導力」「専門性」を身に付けるために取り組んだ。

「トレーニング系」…妙高、加茂・南蒲、見附	「球技系」…長岡・三島、新発田・北蒲
「器械系」…三条、燕・西蒲、魚沼、新発田・北蒲	「スキー系」…小千谷、十日町・中魚、南魚沼
「陸上系」…長岡・三島、三条、小千谷、五泉	「保健系」…柏崎・刈羽
「水泳系」…小千谷、阿賀野	「武道系」…柏崎・刈羽
「表現・ダンス系」…長岡・三島	「ニュースポーツ」…柏崎・刈羽

*参考：レポート、たより、実践収録等作成の郡市 <南魚沼、佐渡、>

2 体育科教育の課題

次期学習指導要領における授業改善の視点として、「主体的・対話的で深い学び」が掲げられ、授業改善によって目指すべき児童の学びの姿として、体育科では「主体的・協同的な学習活動(学習過程)」が挙げられている。既に本年度の研究・実践において、8郡市で「主体的・意欲的・自発的な学び」を、4郡市で「協力・共に・学び合い」を研究主題に挙げて意欲的に取り組んだ。また、ICTを活用して自己課題の表出や自己評価、改善点を洗い出す指導が見られたり、ニュースポーツを取り上げ、今後どのように広げていくかを検討したりするなど、積極的に指導と評価の工夫・改善に取り組んできた。

これまでの研究の成果と課題及び次期学習指導要領の方向性を踏まえ、心身の健康を保持し、運動やスポーツを通して、体力と生活の向上を図る資質・能力を身に付ける児童の育成を目指して、各郡市において、一層の指導力の向上と授業改善を推進していきたい。